**財務諸表に対する注記**

１　重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物　　　　　　・・・・・・・・・・ 定額法

器具備品　　　・・・・・・・・・・ 定率法

② 無形固定資産　　・・・・・・・・・・ 定額法

（2）引当金の計上基準

　① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、職員退職金支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

　（3） 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2　特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
| 退職給付引当預金 | 113,500 | 0 | 0 | 113,500 |
| 会館建替積立預金 | 12,400,000 | 200,000 | 0 | 12,600,000 |
| 生涯教育金 | 2,000,000 | 0 | 0 | 2,000,000 |
| 合　計 | 14,513,500 | 200,000 | 0 | 14,713,500 |

3　特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に  対応する額） |
| 退職給付引当預金 | 113,500 | 0 | 0 | 113,500 |
| 会館建替積立預金 | 12,600,000 | 0 | 12,600,000 | 0 |
| 生涯教育金 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 | 0 |
| 合　計 | 14,713,500 | 0 | 14,600,000 | 113,500 |

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | （単位：円） |
| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
| 建物 | 13,237,770 | 8,657,491 | 4,580,279 |
| 器具備品 | 1,442,655 | 1,297,468 | 145,187 |
| 合　計 | 14,680,425 | 9,954,959 | 4,725,466 |